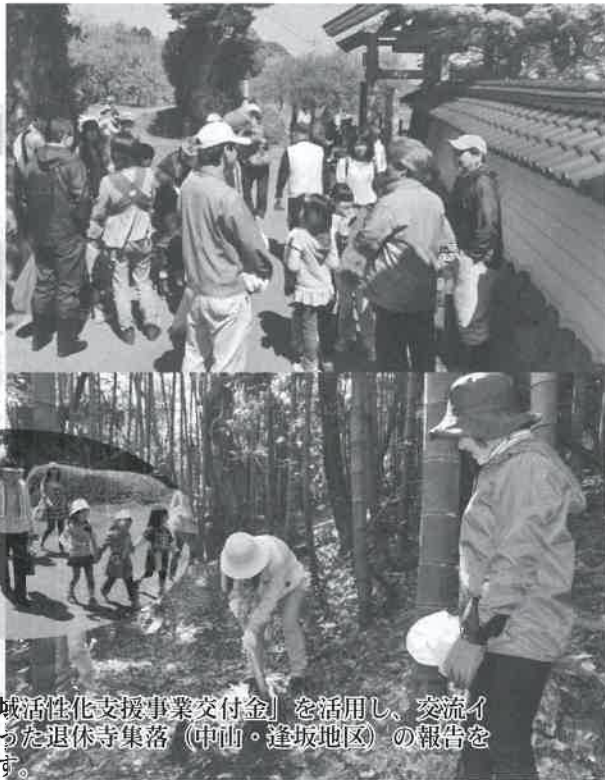


# みんなできらいや!

まちづくり活動報告(第17回)



「大山町地域活性化支援事業交付金」を活用し、交流イベントを行った退休寺集落(中山・逢坂地区)の報告をお伝えします。

## 退休寺からの報告

(退休寺：大島淳一)

この瞬間、皆と力を合わせてこのイベントが開催できたことに喜びを感じました。集落の集会所では、筍づくしの食事を開きました。婦人部のメンバーが心を込めてお

きまつた。採ったばかりの筍を使って料理を振舞いました。メニューは「筍ごはん、筍の味噌あえ、筍の味噌汁」です。参加者の皆さんは、どれもおいしそうに食べていらつしやいました。何度もおかわりをする方もあり、こちらもうれしくなりました。

私たち退休寺集落は、「大山町地域活性化支援事業交付金(※1)」を活用し、4月28日(日)、「第2回退休寺探訪と筍を楽しむ会」を行いました。当日は、遠くは出雲市など町内外から110人の参加があり、大盛況でした。

参加者の皆さんは、寺の総代さんから説明を聞きながら開山650年の金龍山退休寺(※2)を見学。そのあと、寺の裏山や近隣の竹林で筍掘りを楽しみました。また、集落の婦人部が腕を振るった筍料理に舌鼓。家族や友人、地域の人々と和やかなひとときを過ごされました。

大成功!!  
「第2回退休寺探訪と筍を楽しむ会」



※1地域活性化支援事業交付金  
この交付金は、自治会等が、創意工夫を凝らして地域活性化を図ろうとする際に、役場から支払われるものです。詳しくは、広報5月号3ページをご覧ください。

※2金龍山退休寺  
金龍山退休寺は室町時代(西暦1357年)に玄翁和尚により開山された曹洞宗の寺です。その後、玄翁和尚の功績により後小松天皇より勅賜(ちよくし)、勅額(ちよくがく)を賜り、国家鎮護所として「金龍名山退休寺護国禅寺」となりました。門には菊の御紋が輝き、末寺48カ寺を持つ山陰の本山として栄えた名高いお寺です。

同じ集落に住む、お年寄りから子どもまでが一丸となって企画、準備、運営と、交流イベント開催に携わったことで、集落内の結束力がより一層深まりました。

イベントを行うことで、集落名にもなっている「金龍山退休寺」を、多くの方に知っていただく機会になるとともに、今回、約400本の筍が抜かれ、皆さん大満足の表情で持ち帰ってくださいました。それは近年、私たち集落の悩みであった竹の繁茂の抑制にも役立ちました。